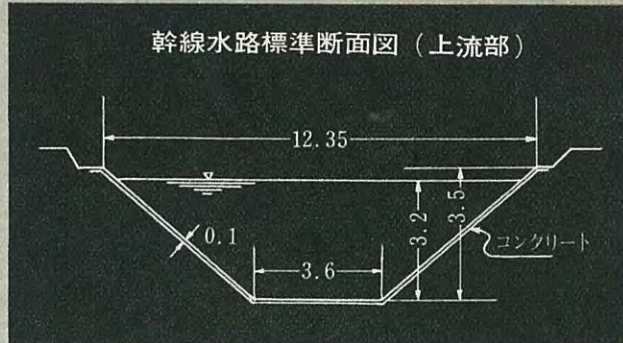


幹線水路試験工事



幹線水路の試験工事が愛知県長久手村北新田で行われた。延長112 kmの幹線水路は、掘削からコンクリート・ライニングまで、すべてを機械化施工する計画なので、この試験工事には色々の期待がかけられた。その



結果、なかなづく施工速度と工費面で多くの成果を収めたが、このテストでも前号で紹介したスロープ・フォームが使用された。その掘削からコンクリート巻立までの施工状況をひろってみよう。



スロープ・フォームの据付



移動ミキサーからコンクリート投入



グレードールで表土剥取



大体設計断面に掘削



フォームを移動させつつ打設



打設おわって面の仕上げ



24 運土に活躍するスクレーパー



グレードールで法面の仕上げ



スランプ・テストも現場で行う



テスト工事全景(コンクリート面はビニール溶液を吹付け養生中)

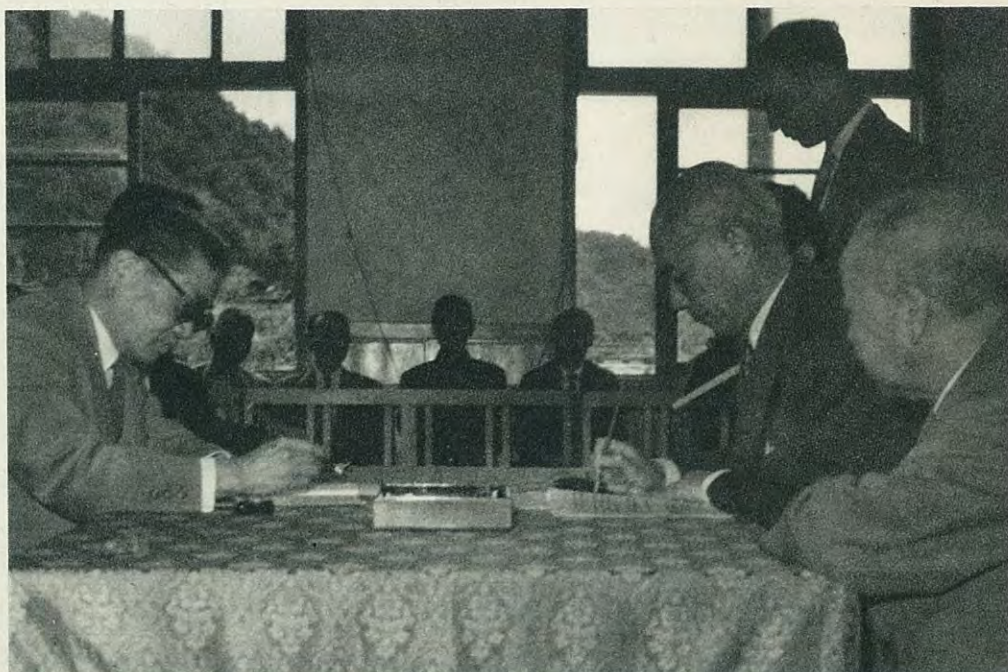
牧尾ダム 補償協定調印

—昭和33年6月11日—

牧尾ダム建設にともなう地元補償問題は、公団発足直後から折衝を重ねてきたが、さる6月11日、約2年ぶりに妥結した。

当日、農林省から監理官室の小林技官、公団側から浜口総裁以下が現地村役場に出向いて、王滝・三岳両村長との間に協定調印を交した。

なお補償金額は、直接補償費14億9500万円、残村再建事業等公団負担金2億5000万円、計17億4500万円であるがこの補償解決によってダム工事は全面的に推進できることになった。



王滝村役場における
協定調印



三岳村役場における
協定調印